

令和7年度第4回公立大学法人福知山公立大学経営審議会 議事録

日 時：令和8年3月26日（木）9時30分から11時30分まで

場 所：福知山公立大学4号館4階会議室

出席者：

（委員）川添信介委員、西田豊明委員、倉田良樹委員、辻直人委員、足立正委員、
石原俊彦委員、寒竹聖一委員、小林加奈子委員、嵯峨根正和委員、
田村雅之委員

（事務局）荻野美代子、大江伸哉、小原淳史、竹元啓、杉本貴円

会議概要

<定足数>

定款第18条第4項により成立した。

<議長>

定款第18条第3項により川添理事長が議長となった。

<確認事項>

前回及び前々回の議事録（案）について確認を行い、原案どおり承認された。

<審議事項>

1号議案 公立大学法人福知山公立大学令和8年度年度計画（案）について

公立大学法人福知山公立大学令和8年度年度計画（案）〔審議1〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<主な意見>

- ・ 地域防災研究センターの取組みについては、災害発生後の対応と、災害を未然に防ぐための事前対応の両面から取り組まれることが望ましい。全国的な警報警戒レベルではなく、地域ごとにデータを蓄積することで独自の基準を設けて防災に活用するようなことも視野に入れていただきたい。
- ・ これまでも探求型学習における連携を進めているが、それだけでなく、クラブ活動に注力しているこの地域の高校にはスポーツに高い意欲を持つ全国の優秀な生徒が集まっており、情報学やAIはスポーツ分野との親和性が高く、データ収集・分析等の観点からも連携の可能性を検討する余地があるのではないかな。
- ・ 福知山公立大学がどのような特色を持つ大学であるのかが明確に伝わるようになれば、学生の関心もより高まるのではないかな。福知山市シティプロモーションと連携し、協力を得ることも有効な方策の一つである。
- ・ 本学教員が地元の高校等で出前講義を行い、高校生との良好な関係を築くことは、将来的な進学意欲の喚起や学生確保につながる。情報系、地域経営系を問わず、中学生

や高校生との関係づくりを通じて本学への進学につなげる地道な取組みが重要である。

- ・ 財源確保の方策の一つとして、ふるさと納税の活用が有効ではないか。特に、企業版ふるさと納税については福知山市役所も力を入れており、大学向けの寄附獲得についても市役所が中心となって進めていきたい。
- ・ 小口寄附は継続性が期待できるため、他大学の例を参考にされたい。また、国立大学法人では統合報告書の作成が進んでおり、大学の価値を発信している。実態以上に見せるのではなく、地道で誠実な取組みを丁寧に伝え、本学のファンを増やしていくようなアプローチが有効である。

2号議案 公立大学法人福知山公立大学令和8年度予算（案）について

公立大学法人福知山公立大学令和8年度予算（案）〔審議2〕について審議を行い、原案どおり承認された。

3号議案 公立大学法人福知山公立大学の組織改編について

公立大学法人福知山公立大学の組織改編〔審議3－1〕～〔審議3－6〕について審議を行い、原案どおり承認された。

4号議案 規程の制定・改正

規程の制定・改正〔審議4－1〕～〔審議4－4〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<報告事項>

（1）公立大学法人福知山公立大学の組織改編について

公立大学法人福知山公立大学の組織改編〔報告1－1〕・〔報告1－2〕について報告があった。

（2）令和7年度資金運用報告について

令和7年度資金運用報告〔報告2〕について報告があった。

（3）令和8年度の本学の運営体制について

令和8年度の本学の運営体制〔報告3〕について報告があった。

（4）近況報告

大学の近況〔報告4〕について報告があった。

（5）令和6事業年度に係る業務の実績に関する評価結果に対する対応について

令和6事業年度に係る業務の実績に関する評価結果に対する対応〔報告5〕について報告があった。

（6）公立大学法人福知山公立大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の改訂について

公立大学法人福知山公立大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の改訂〔報告6〕について報告があった。

（7）規程の制定・改正

規程の制定・改正〔報告7〕について報告があった。